

# ふじみサラダボール子育て情報

「発達とやる気」

令和8年3月11日号

板橋富士見幼稚園



## 小さな自信を大きく育てる

子どもは乳児から幼児に成長する頃から、様々な物に対して興味や関心を示すようになります。特に“動くもの”に対して、鋭く好奇心を寄せてきます。例えば、コップに入った牛乳を飲もうと口元に近づけ、こぼれてしまった時、今度は床にこぼしてみたりすることがあります。そんな姿を見て、叱ったりすることがありますよね。これは発達心理から見ると、実は牛乳が流れる様子が面白くてもう一度試してみた結果です。子どもがまだ規則性や法則性を知識として持ち合わせていないときに、まさに「動くものに引き寄せられる」習性から出てくる行動なのです。

道端の水たまりを避けようと手を引くと、わざと水たまりの中に入り込み、水の揺らぎに不思議さを感じ、ゆらぎが止まると、靴で“ばしゃん！”と、水しぶきをあげたりする行動を、誰もが一度は体験しているものなのです。また、砂山作りで、水を含ませた時に変化していく不思議さに気づいたりしながら、砂を傾斜に形づけていく遊びをさらに発展させていきます。

こうした一つ一つの体験の中から、流れる・止まる・傾斜・形づける等、行動を繰り返す中で自ら実証し、知識として蓄えていくことで小さな自信が芽生えてきます。

これらの体験から気づき学びとなった経験は、さらに外の世界への興味に広がっていきます。例えば、電車や自動車が動いたり止まったりする姿に、「なぜ？」という不思議さを抱いたりするのです。

子どもの心の仕組みを理解することで、子どもの中に育ち持つ自信を大きくサポートしてあげられるようになります。「動く」「止まる」から始まる子どもの心を大きく育ててあげてほしいものです。



**【3月3日ひな祭り集会】**  
自分で作ったお雛様の紹介をしたり、ひなまつの歌を歌ったりして今年度最後の集会をみんなで楽しみました。  
園庭でもアンズやチューリップの花に気付き、春の訪れを喜ぶ姿があります🌸

